

講演会

富山県立大学研究協力会総会

総会終了後、カラーセラピー研究所 所長 木下代理子氏に「ビジネスに活かす色彩戦略」と題し、色の持つ効能や影響を利用した、ビジネスへの効果的な色活用方法についてご講演いただきました。オレンジ色のネクタイを身に付けると親しみやすい印象になることや、謝罪には黒よりもねずみ色のスーツを着るとより反省が伝わること、また、色を用いて簡単に集中力を鍛える方法など、すぐ実践できる興味深い内容で、会場は大変盛り上がりしました。



講師：カラーセラピー研究所 木下代理子氏

【講師プロフィール】

1966年兵庫県出身。1987年大手前女子短期大学服飾科卒業後、平盛アナウンススクールにてアナウンス研修を終了後、フリーのMC・ナレーターとして展示会、式典、イベント等で活動。1993年吉本興業(株)にてパリー木下の芸名でタレントとして活動を続けながら、1994年Human Color Counselorの資格を取得し、心理教育研究所ヒューマングロウスセンターにて「深層心理技法指導講座」を受講。1996年甲南女子大学文学部心理学科にて心理学、人格心理学の単位を取得後、1997年関西学院大学文学部心理学科にて心理臨床学の単位を取得。1999年早稲田大学第一文学部心理学科にて大脳生理学の単位を取得し、3月大阪にカラーセラピー研究所を開設。10月特許庁より「Color Floral Therapist」の商標許諾を得る。2000年カラーセラピー研究所を東京に移転し、現在に至る。また、日本色彩学会正会員、日本臨床心理学会正会員でもあり、官公庁・教育機関・一般企業を対象に幅広く講演・セミナーの講師として活躍。

交流会

富山県立大学研究協力会総会

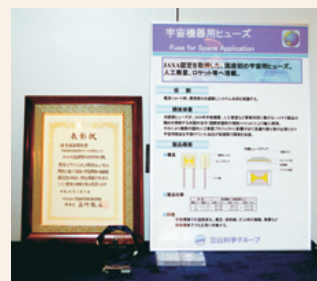
多くの会員企業、県立大学の教員が参加し、交流を深めました。乾杯では、本学が発見した酵母を使った県産赤ワイン「TOYAMA2012 ベリーA」が、やまふじぶどう園ホーライサンワイナリーから提供され、出席者の皆様に味わいました。

また会場内では、JAXA優秀部品開発賞を受賞された立山科学グループの「ヒューズ」(人工衛星やロケットに使用され、回路に不具合があった際に、電流を遮断してシステム全体を保護する部品)の展示や、富山県ものづくり大賞を受賞された富山化学工業の「オゼックス細粒小児用15%」、優秀賞を受賞されたスギノマシンの「バイオマスナノファイバーBiNF-i-s」に関する展示が行われました。このほか、



大型研究資金ERATOに採択された「浅野酵素活性分子プロジェクト」に関する展示や教員の研究成果発表(ポスターセッション)も同時に行われ、熱心に耳を傾けておられる姿も見られました。

また、来賓として石井隆一富山県知事は、「研究協力会の皆様のご支援のもと、地域連携センターを中心に、大学のシーズと企業のニーズのマッチングを積極的に行ってきた。そのおかげで、共同研究をはじめとする県立大学の外部資金の受入実績は堅調に推移している。これもひとえに杉野会長をはじめ会員の皆様のご尽力のおかげであり、改めて心から感謝申し上げる。今後とも、企業と県内大学、研究機関との連携・協力が、新技術や新商品の開発、新産業の創出につながるよう、ご協力をお願いしたい」と挨拶がありました。



交流会場の展示物